

特別活動

1 自校の教育課題解決を目指した指導計画の改善

- 学校や地域社会の実態、子どもの発達段階を踏まえ、各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を明確にした創意ある指導計画を作成する。

2 自主的、実践的な活動を充実させる指導内容の重点化と指導方法の改善

- 互いのよさや可能性を認め合う活動を積極的に取り入れ、一人一人が自己肯定感・自己有用感をもてるよう、全教師の指導体制を整えて指導方法の改善を図る。

【学級活動】

- ◎ **話し合い活動を充実させ、(1)では学級としての意見をまとめる集団決定、(2)及び中学校(3)では自己の問題の解決方法を決める自己決定ができるようにする。**

【児童会・生徒会活動】

- 協力的な指導体制の充実を図り、異年齢集団の特質を生かし、自発的、自治的な活動を助長する指導・援助やリーダーシップの育成に努める。

【クラブ活動(小)】

- 子どもの興味・関心を十分に踏まえ、学校、地域の実態を考慮しつつ、自発的、自治的に企画、運営できるよう適切な指導を行う。

【学校行事】

- 行事のねらいや特質に応じて精選化を図るとともに、多様な人々との交流体験や文化的な体験(小)、職場体験(中)等を重視し、自主的・実践的な活動が展開できるように工夫する。

3 特別活動の特質を踏まえた評価の工夫

- ◎ **活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。**

※は参考文献等

特別活動の充実のために

「話し合い活動」の充実

- ◎ **話し合い活動を充実させ、(1)では学級としての意見をまとめる集団決定、(2)及び中学校(3)では自己の問題の解決方法を決める自己決定ができるようにする。**

- ・ 学級活動(1)では、学級活動委員(計画委員)の司会、記録等の役割分担、活動の計画・立案等により自分たちの活動であることへの自覚と責任をもたせるとともに、アンケートや事前調査等により子ども一人一人の問題意識や改善意欲を高める。
- ・ 学級活動(2)及び中学校(3)の題材について、子どもが切実感をもって話し合い、具体的な改善策を伴う自己決定ができるように資料を提示する。

- 【例】
- * ゲストティーチャーからの心に響く話
 - * 学級担任や学級活動委員会(計画委員会)による実態調査等の結果

- ・ 議題や題材について、事前に子どもが書いた考えに、教師が朱書きを入れる。

【期待できる効果】

- 【例】
- * 子どもが考えをまとめ、発言することへの自信がもてる。
 - * 司会役への実態を踏まえた助言により話し合いが円滑に進む。

※ 楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)(平成26年7月 国立教育政策研究所)

※ 学級・学校文化を創る特別活動(中学校編)(平成28年3月 国立教育政策研究所)

- ・ 「提案理由や活動テーマを大切にすること」や「話し合いの形態を工夫すること」「安易に多数決で決めないこと」など、板書や掲示物を利用して、子ども一人一人が話し合いの仕方やルールを理解し、発言しやすい状況や雰囲気をつくる。



「振り返る活動」の充実

- ◎ **活動の過程で一人一人を見取り、よさや可能性を積極的に認めるとともに、多様な振り返る活動により集団や自己の変容に気付かせ、子どもの自信や次の活動への意欲を高める。**

- ・ 体験発表会、新聞による紙上発表、礼状作成など、多様な方法で活動を振り返り、活動後の変容に気付かせるとともに、何が変容につながったのかについて考えさせたり、話し合わせたりする。
- ・ 活動の目的を明確にした上で実施し、育てたい資質や能力に即した視点で振り返らせ、教師が積極的によさを認め、子ども同士でも認め合う場を設定する。